

平成31年1月31日

阿賀野市議会議長 風 間 輝 榮 様

産業建設常任委員会委員長 浅 間 信 一

所 管 事 務 調 査 報 告 書

本委員会は、平成30年第5回議会定例会において議決を経た、閉会中の所管事務調査を下記のとおり行ったので、会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事項 (1) 降雪時の消雪状況について
(2) イノシシ被害の状況と対策について
(3) 水道管凍結時の対応について
- 2 調査期日 平成31年1月31日(木) 午前10時00分
- 3 調査経過

平成31年1月31日、逢坂産業建設部長、遠藤農林課長、仁谷上下水道局長並びに担当職員の出席を求めて本委員会を開催し、調査事項について担当課長から説明を受け、質疑、意見集約を行いました。

4 調査結果

(1) 降雪時の消雪状況について

消雪パイプの維持等の消雪施設の修繕実績については、今年度1月28日現在、計92件の修繕を実施しました。内訳はノズル、送水・散水管からの漏水対応及び消雪パイプに関する修繕が58件、井戸ポンプの修繕が12件、制御盤等の修繕が22件となっています。

消雪施設につきましては、30年以上経過した施設が全体の6%に達しています。県の情報によれば、県管理施設の平均の経過年数が37年程度であるので、県との比較で経過年数はまだ低いような状況ですが、今後も局部的な修繕を行いながら、既存施設の経過年数及び劣化状況を考慮し、更新を行うよう要望しました。

除雪等の要望苦情等の状況については、今年度1月28日現在、66件の要望苦情がありました。内訳は消雪パイプ等に関するものが44件、除雪に関するものが22件でした。今後も住民の生活に支障にならないよう、パトロール、除雪体制の構築

等を進めていかなければなりません。

(2) イノシシ被害の状況と対策について

平成 29 年 4 月から現在まで農林課で把握している出没状況は、国道 290 号並びに安田地区の山手方面の全域で確認されているほか、国道 290 号沿線西側の笹岡地区、山崎地区、次郎丸地区でも確認されています。平成 29 年度の出没情報提供件数は 11 件でしたが、平成 30 年度 1 月 31 日現在での出没情報提供は 23 件寄せられています。また、農協及び N O S A I へ確認した農作物への被害額は、平成 28 年度は 28 万円。平成 29 年度は 29 万円となっております。

市の対策は、鳥獣被害対策実施隊及び猟友会と連携しながら、わなの設置による捕獲を進めていますが、全国の自治体では、イノシシ出没数の非常に速いペースでの増加に苦慮されている状況です。

近い将来、イノシシによる事故が多発することも予測されることから、早めに市長会等を通じて国に対策を講じてもらい、事故の未然防止が必要と思われまます。市長からも国への働きかけを行っていただくよう要望しました。

(3) 水道管凍結時の対応について

冬場の水道管の凍結状況について、平成 29 年度の凍結等被害は、平成 30 年 1 月 15 日から 2 月 20 日までの間で、全体で修理の依頼合計が 1,063 件、内訳は 1 月分が 755 件、2 月分が 308 件でした。また、部材不足等のため、すぐ修理が出来なかった件数が 91 件ありましたが 3 月中には全て完了しました。委員からは、寒波による凍結事故に備え、業者に対して、修理部材の在庫管理の適正化と体制の強化を指導してほしいという意見もありました。

水道設備工事に際しては、申込書による図面等の事前審査や、完了時には現地で立会検査を行うなど、工事の適正保持に努めていますが、新築時、水道設備の凍結防止対策を完璧に近い状態にするように、なお一層指導に努めてもらいたいと要望しました。

以上、産業建設常任委員会の所管事務調査の委員長報告といたします。